

第91回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：令和2年12月3日（木） 11：00－11：40

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

（1）委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、遠藤委員、折木委員、後藤委員、中須賀委員、
松本委員、山崎委員

（2）政府側

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 松尾事務局長、岡村審議官、吉田参事官

（3）オブザーバー

宇宙航空研究開発機構（JAXA） 山川理事長

4. 議事要旨

（1）「宇宙基本計画工程表の改訂について」事務局より説明を行い、改定案が了承された。委員からは以下の様な意見があった。（以下、○委員からの意見）

○それぞれの施策を誰が責任を持ってやるのかを明確化し、継続的にしっかりフォローアップをしていくことが重要だが、今回の改訂案ではそれが反映できている。

○衛星開発・実証プラットフォームによる取組について、スピード感を持ってしっかり進めていくことが重要である。

○アルテミス計画は、米国と連携をしつつも、我が国としても独自の戦略をもって取り組む必要があり、長期ビジョンと先行的技術開発について、具体化をしていく必要がある。

○今回の改訂案は外交・安全保障と民生のバランスがしっかりとれた工程表改訂になっている。今後、さらに戦略性を持って宇宙政策を考えていくことが重要である。

○今後の宇宙活動を巡る国際秩序形成において、日本がしっかり役割を果たすことが重要であり、今回の改訂案では、その姿勢がしっかり表現されている。

○宇宙が社会に貢献することを示していくことが重要であり、衛星データの活用など、社会実装に向けた取組をしっかり進めていく必要がある。

○今後の宇宙政策を考えるに当たっては、日米連携を意識しつつも、日本としての独自の戦略をもつことも重要である。

以上